公明こうち 市議会ニュース

発行所／高知市議会公明党
住　所／〒780-0870
高知市本町5丁目1番45号
TEL:088-823-9403
FAX:088-871-2485
2025年（令和7年）11月1日　第67号
高知市議会 KOMEITO 公明党

第509回 高知市議会定例会

市民目線で市政運営をただす！

髙木 妙（たかぎ たえ） 議員

髙木妙議員は、教育行政について質問しました。

◆学びの多様化学校について

不登校生徒が通える「学びの多様化学校」を、潮江中学校の「分教室」として潮江図書館４階に設置することが提案されました。

私たち公明党は、「不登校特例校を学校型で高知市に作りたい」との願いを持ち、先進地の視察や提案を続けて来ました。今回の提案は、これまで公明党が求めてきた類型とは違うものの、不登校生徒の「学びの場」の選択肢が増えることには賛成です。

しかしながら、候補地となっている場所は、新県民体育館整備構想の中で、「青年センター所有のグランドを含めて一体的に使いたい」との申し出がされており、教育環境が著しく変化します。

そのため、今回の提案は、時期尚早であり、「県民体育館整備構想案がまとまるまで、その決定を待つべきである」との質疑を行いました。しかしながら、教育長は決定を覆さず、「明年４月の開校を目指したい」との答弁でした。私は、類型の違いは教育効果に大きく影響すると思います。

山根 堂宏（やまね たかひろ） 議員

山根堂宏議員の質問内容です。

◆市長の政治姿勢に関して

行財政構造改革を進める上で、①本市における行政組織の在り方②事務の処理方法、③財政運営の仕組みなどの構造的な問題点について、市長に伺いました。

◆事務事業の仕分けに関して

高知市では一般財源確保のため費用対効果や市民生活への影響などを踏まえ、事務事業の見直し素案が示され、補助費等の「廃止」事業で、検討対象の方針と関係部局での、今後の対応について伺いました。

◆上水道の施設及び管路の耐震化

基幹施設と基幹管路及び重要施設管路の耐震化の実態、優先される地域の整備計画及び今後の財源確保について伺いました。

◆事前防災に関して

○大規模災害後の通電火災

地震発生後の通電火災防止のため、本市の感震ブレーカーの設置実態、今後の普及啓発活動と設置支援の構築を伺いました。

○大規模災害後の水道水の漏水

地震発生時などの際の「貴重な水」の確保ため、水道水の漏水防止対策の手立てを伺いました。

伊藤 弘幸（いとう ひろゆき） 議員

伊藤弘幸議員は、以下のとおり質問しました。

◆健康増進のためのジョギングコース23箇所の整備を伺う。

問　本市は、公共施設や公園また広場等の維持管理費の財源確保として、ネーミングライツパートナーを広く公募をかけて取り組んでいます。

そこで、市民が、ジョギングやウォーキングに親しんでいるコースの整備にあたり、クラウドファンディングやネーミングライツの導入を検討できないか桑名市長に伺いました。

答　ジョギングコースの提供は、市民の皆様の健康維持に繋がるだけでなく、観光客の満足度向上やシティプロモーションにも繋がります。

高知市が管理する市道に設定したものについては、整備を実施するための財源を確保する方策として、実施可能と思います。

特に、ジョギングコースを対象としたネーミングライツは、独自の名前を付けることが可能で、本市にとって初めての取組みとなりますので、注目度も高くなると答弁がありました。

大久保尊司（おおくぼたかし） 議員

◆選挙投票所の対応について

問　7月の参議院議員選挙では、若者を中心に投票率が伸びましたが、初投票に行った若者は、投票方法や投票所の雰囲気に困惑し、投票に抵抗感などを感じたと伺いました。投票所での若い方への配慮はできないか伺います。

答　初めて投票される方や不慣れな方、高齢者や障がい者の皆様にも円滑に投票して頂けるよう、投票所の雰囲気づくりに努め、戸惑っている方を見かけたら、従事者から声がけをするよう、投票管理者や事務従事者説明会の中でしっかりと周知していきます。

◆鎌倉市との交流協定について

問　高知市出身の漫画家、横山隆一先生と縁のある鎌倉市と観光・文化協定等は可能か伺います。

答　「鎌倉市との交流協定等」については、歴史都市、文化都市、観光都市として多様な魅力を持つ鎌倉市との連携は大変有意義と考えるが、近年は交流が少なくなっている状況もある。今後、横山隆一先生をはじめ、文化、観光、スポーツ分野等、官民を問わず機会を捉え、具体的な交流について検討していきます。

「KITTE大阪 1周年祭」を会派で視察

今年の7月末で開業1周年を迎えた「KITTE大阪」において、これまでのご愛顧に感謝の気持ちを込め、「KITTE大阪1周年祭」が開催されており、8月24日(日)に高知市議会公明党の会派6名で視察しました。

「KITTE大阪」は、日本全国のヒト・モノ・コトが集まった施設ですが、旧大阪中央郵便局の一部を保存したエリアなど「歴史」を大事にしたデザインも特徴的で、1周年祭においては、新しさと懐かしさ、昔と今の「時代のつながり」を感じていただけるイベントが行われていました。

そして、「KITTE大阪」には、高知県アンテナショップ『SUPER LOCAL SHOP とさとさ』も出店しており、「SUPER LOCAL」とは高知が誇る食と文化をお届けの意味で、「ど田舎」ではなく「極上の田舎」をコンセプトにしています。

一本釣り漁師が釣った鰹の商品、農家が自然と会話しながら育てた野菜・果物の加工品、山あいの茶畑から生まれた土佐茶など、海・山・川・畑に生きる人々の「食とカルチャー」が盛り沢山で、県内全酒蔵の土佐酒を取り揃えたコーナーも人気とのことでした。

令和6年度決算における公明党の実績

①医療費助成が中学生まで拡充
②南海トラフ地震対策
・避難所におけるマンホールトイレ等のハード整備
・事前復興まちづくり計画策定にむけた「高知市復興基本方針」の策定
③がん患者の心理的負担を軽減する「がん患者アピアランスケア支援事業費補助金」の創設
④街の賑わいに寄与する「おまち多目的広場」「おまちぐるっとWi-Fi」の整備
⑤鳥獣被害対策としてシカ・イノシシに加え野兎の捕獲に対しても捕獲報奨金の創設・拡充
⑥安全で円滑な交通体系の整備
・愛宕町北久保線ほか2路線の街路整備事業の推進
・重要橋梁の耐震対策、道路・橋梁の長寿命化対策
⑦上下水道局事業として、基幹管路の老朽化に伴う耐震化の推進

など市民生活に寄り添った政策を実現しました。

使用料・手数料の改定に対する公明党の主張

令和８年４月から使用料改定が行われる対象52施設中、高知市文化プラザかるぽーと大ホールでは、使用料を現行から25%引き上げることになります。

このことは、令和7年4月に県民文化ホールが行った改定率10%の引き上げと比べると、格段に高額な使用料となります。
市議会公明党は、本市が示す利用者負担の公平性において、「公の施設」の設置目的と自治法に示される「市民福祉の向上」の観点から逸脱していると主張しました。

また、利用者負担が過大になることは、市民の文化活動に多大な影響を及ぼし、活動が縮小される懸念があるため、認めることはできないと反対の立場で討論を行いましたが賛成多数で可決されました。

市議会公明党は、今後の利活用の状況を見極めながら、これからも、市民目線に立った市政運営をすすめてまいります。

太陽

私は、高知の風土が大好きです。新鮮な食材が大変豊富で、高知特有の皿鉢料理の中に繊細さや大胆さ、人に活力を与えるよさこい祭りなど、歴史と伝統や文化に育まれた高知を誇りに思っています。

本年、「第72回高知よさこい祭り」では、県内外からの老若男女188チームが参加。大雨にも負けない勢いで、パフォーマンスが繰り広げられ、見る者を魅了しました。

また、EXPO2025大阪・関西万博においても、国内外に高知の魅力を発信するチャンスが到来し、よさこい演舞や街路市をメインテーマとしたイベントが開催されました。来場者数は、目標の1万5千人を大きく上回る5万4千人が訪れ、物販エリアでは、街路市の風情を再現するなど、高知の様々な特産品が紹介されました。

また大好評の中、最終回を迎えたNHK連続テレビ小説あんぱんでは、「たまるか」「ほいたらね」など、独特な土佐弁がクローズアップされ、高知の魅力が存分に発信されました。

しかしながら、高知市では、人口減少対策が喫緊の課題であり、第3期高知市移住・定住促進計画では、「住んでみたい・住み続けたいまち高知市」の実現に向け、よさこい移住プロジェクトなど様々な施策が盛り込まれています。

私は、魅力溢れる観光資源を最大限に生かし、交流人口から関係人口へとブラッシュアップさせて行く事が、〝高知の未来〟を必ずや拓くに違いないと期待しています。

（希）